

# 響灘ビオトープにおける真正水生昆虫保全のための支援

申請者情報

日揮触媒化成株式会社

支援先

北九州市響灘ビオトープ

支援実施日  
(支援期間)

- ・モニタリング…2025年10月1日
- ・環境学習…2026年3月20日(予定)

## 活動概要

響灘ビオトープにおける、湿地の生物多様性保全に向けた生物種調査および環境学習によるネイチャーポジティブへの貢献

## 支援の目的

響灘ビオトープは、廃棄物処分場跡地に誕生した広さ約41haの湿地と草地のビオトープで、都市と自然が近接するアーバンネイチャー北九州のシンボリックなスポットの1つです。このビオトープの湿地に生息する「真正水生昆虫」について、生物多様性の維持において重要な役割があることや、その存在と多様性の変化が水質汚染や環境破壊の早期警告となることなどを踏まえ、専門的なモニタリングを実施しました。また、普及のため、市民を対象にした環境学習会も行います。

## 支援の成果

「真正水生昆虫」のモニタリングは、響灘ビオトープ内に新設された湿地で行いました。環境省レッドリスト2020、福岡県レッドデータブック2024に掲載される重要種であるエサキアメンボ、コオイムシ、タイコウチ、アンピンチビゲンゴロウ、ケシゲンゴロウ、ナガマルチビゲンゴロウ、チビマルガムシの7種を含む27種の真正水生昆虫が確認でき、これにより湿地の生物相が明らかになり、湿地の保全対策の基礎データになりました。

